

4月17日 静岡県松崎町
「伊豆・松崎・であい村 蔵ら」を訪問
東海事業本部 下田上映実行委員会

4月17日、伊豆半島の西海岸、松崎町で女性を中心となって町おこしを実践している「蔵ら」を訪問しました。4月27日下田で予定されている映画「ワーカーズ」の上映会に向け活動している、東海事業本部のメンバー、下田でやはり「蔵ら」のような拠点を作ろうとしている下田蓮台寺地区の人々と、映画上映会の広報をかねての活動です。

松崎町は下田の中心街から車で約40分の道のり。当日の上映に来てもらえるかどうか、ぎりぎりの距離ですが、まちづくりとナマコ壁の保存、レストランと物産の拠点を是非見てみたいと8人のメンバーが見たのは、平日にもかかわらず、地元、観光客が作る行列でした。

「蔵ら」はスタッフ20名ほど。全員が出資し、経営し、働くというワーカーズコレクティブとして2010年10月10日に



オープンしました。「最近、ようやく黒字になってきた」と代表理事の青森千枝美さんは言います。4月からは、銀行との取引など、法人格がないと不便であることから、企業組合として活動することになりました。メニューはスタッフが得意料理を日替わりでつくるというスタイル。500円という低価格ながら、行列ができるのがわかる、健康的で自然なおいしさが特徴です。

きっかけは、2009年に開催された松崎町観光協会主催の「オンリーワンフェスタ」。手作り小物店「ゆめのはな」を立ち上げました。その後、築100年以上のナマコ壁の家屋を家主が手放すと聞き、この地に蔵らは誕生しました。

青森さんは、「実は主力の事業はギャラリーでの

小物の販売、レストランは人よせです。」というっており、2階のギャラリーには狭いながらもぎっしりと商品が並んでいます。町内外から技術を持った人が作った作品を並べ、一定の割合で売り上げからマージンをもらう仕組みになっています。「町の人たちの才能を見つけるのが私の仕事」と明るく笑う青森さん。

映画の話の向けると、次は是非、松崎で上映を、と嬉しい言葉をもらいました。



東海事業本部としては伊豆半島、下田での拠点作りに重要なヒントをもらいました。再訪を約束し、下田上映の成功を誓いました。

4/27 映画「ワーカーズ」
静岡県下田上映会開催のお知らせ
パネルディスカッション
「下田のまちづくりを考える」

【映画「ワーカーズ」下田上映会】

2013年4月27日(土)

下田市民文化会館 小ホール(静岡県下田市四丁目1-2)伊豆急下田駅徒歩7分

①10:00～ 上映

11:40～ パネルディスカッション

「下田のまちづくりを考える」

・白井正明氏「下田にぎわい社中」代表理事

・渡辺 信氏「創年のたまりば」代表

②14:00～ 上映(上映のみ)

前売券1000円 当日券1300円

後援: 下田市 下田商工会議所 下田市観光協会

伊豆新聞 伊豆下田法人会下田支部

特定非営利活動法人下田にぎわい社中

お問合わせ ワーカーズコープ東海開発本部

tokaikh@roukyou.gr.jp tel:052-222-3850